

「インクルーシブな学校運営」通信 第5号

カリキュラム・マネージャー

美術作品に多くの感想

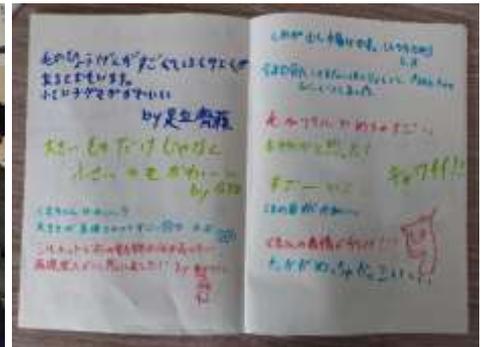
4日（金）から16日（水）まで、インスタレーションという手法による中高養生徒の美術作品が更農に展示されました。作品の横に置かれた「感想ノート」には、先生方や生徒たちがたくさん感想を寄せて下さいました。また、展示期間中には更農祭が開催され、来校された家族や地域の方々も興味深そうに作品を鑑賞していました。



作品を鑑賞する更農生



更農祭に来校した家族



感想ノート

「オンライン共同学習」を実施

18日（金）第1回目の「オンライン共同学習」（指導者：MT 更農、ST2名中高養）が、更農1年B組19名、中高養1年生10名が出席して行われました。

昨年度の反省を生かし、意見交換の回数を増やすとともに、一人一人の考えを引き出せるようKJ法の手順を明確にしました。また、更農の授業の様子をいつでも中高養のスクリーンに映し出せるようにしました。

生徒に授業の印象を尋ねましたが、更農ではすべての生徒が「普段の授業と変わりなく学習できた」と答えました。また、中高養では問題場面の理解などで個別に支援を受けながら、全員がグループの意見交換に真剣に参加し、授業後には次の授業も受けたいという声が聞かれました。

「オンライン共同学習」は本年度3回計画されており、2回目は10月24日（金）、3回目は12月19日（金）に実施する予定です。



両校で同時に進行するグループ学習（左：更農 右：中高養）

「経験」と「意識」との関係 アンケート調査結果から

本年度の生徒アンケート調査の速報値は通信第3号に掲載しましたが、今回は「経験」に関する2項目と「意識」に関する項目間の相関関係について検討しました。

中高養の生徒には、昨年は見られなかった「交流の経験」の有無と「意識」の間に、多くの項目で相関関係がありました。また、昨年より項目数は減りましたが「授業や行事の参加の経験」と「意識」の間にも相関関係が見られました。

一方、更農の生徒には、一つの項目を除いてほとんど相関関係はなく、相関関係がみられる項目が昨年より減少しました。

令和7年度

【相関係数の絶対値の一般的解釈】 0.0~0.2 ほとんど相関関係がない 0.2~0.4 やや相関関係がある 0.4~0.7 かなり相関関係がある 0.7~1.0 強い相関関係がある	他の学校の生徒と交流した経験		他の学校の授業や行事に参加した経験	
	更農	中高養	更農	中高養
これからも他の学校の生徒と交流したいですか？	0.17	0.32	0.02	0.18
お祭りや防災訓練など、地域の活動に参加したいと思いますか？	0.04	0.21	0.03	0.11
人の役に立ちたいと思いますか？	-0.01	0.25	0.19	0.20
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか？	0.17	0.25	0.16	0.19
自分にはよいところがあると思いますか？	0.07	0.22	0.25	0.32
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか？	0.00	0.13	0.15	0.17
他の学校の授業を受けてみたいですか？	0.13	0.35	0.09	0.32
中高養/更農の授業を受けてみたいですか？	0.03	0.28	0.04	0.22

令和6年度

【相関係数の絶対値の一般的解釈】 0.0~0.2 ほとんど相関関係がない 0.2~0.4 やや相関関係がある 0.4~0.7 かなり相関関係がある 0.7~1.0 強い相関関係がある	他の学校の生徒と交流した経験		他の学校の授業や行事に参加した経験	
	更農	中高養	更農	中高養
これからも他の学校の生徒と交流したいですか？	0.15	0.15	0.41	0.45
お祭りや防災訓練など、地域の活動に参加したいと思いますか？	0.04	0.04	0.27	0.54
人の役に立ちたいと思いますか？	-0.05	-0.04	0.26	0.41
自分にはよいところがあると思いますか？	-0.06	-0.01	0.07	0.37
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか？	0.12	0.07	0.07	0.35
他の学校の授業を受けてみたいですか？	0.13	-0.14	0.23	0.39

(注) アンケートの質問項目は、中高養の学校間交流の教育課程上の目標を基に作成しており、更農の目標は反映していません。中高養の目標は「地域住民や他校の児童、生徒等との交流学習を通し、1人の人間として認められる経験を積み、主体的、協働的に社会に参加しようとする態度を育成する。」です。